

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 5 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	6: 身体拘束をしないケアの実践 身体拘束によって利用者に与える身体的・精神的苦痛を理解し、身体拘束のないケアを実践している。一方で、利用者の安全確保や緊急やむをえない場合に関しての対応について、家族やチームで率直に話し合える機会がないと、職員への疲労やストレスが虐待につながる危険性がある。	職員の疲労やストレスが、利用者のケアに影響をおよぼさないような対策ができる。	①職員のストレス把握やトレスマネジメントの実施 ②チームでの話し合いや気づき、意見・要望の共有 ③家族へのこまめな情報提供 ④身体拘束や虐待防止に関する勉強会の実施	12ヶ月
2	4	4: 運営推進会議を活かした取り組み 地域の方の参加理解が得られにくく、事業所の取り組みや課題を話し合えるように参加者に働きかけているが、双方向な会議となっていない現状がある。	運営推進会議のあり方を見直し、地域の理解と支援の促進ができる。	①運営推進会議の開催場所や議題の工夫 ②自分たちから地域の会議へ出向いて意見を伺う ③他事業所の運営推進会議に参加する ④関係機関への協力依頼	12ヶ月
3	35	35: 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を職員が身につける必要がある。	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を職員が身につけることができる。	①各種災害に備えたマニュアルの策定 ②災害を想定した実践訓練 ③災害に備えた備品等の準備	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。